授業改善推進プラン

教科（　　国　語　　）　学年（　　１学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査によると、当てはまる、まあまあ当てはまるを合わせ、自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしていると感じている生徒が 94%、「わかった」「できた」と感じる機会があり、わかりやすいと感じている生徒は 87%であった。

区学力調査では、目標値に対して「読む」の正答率は高いが、「話す・聞く」の正答率が低い。全体的には目標値に対して 4.2%低い。目標値を越えるように各領域の学力向上を図る必要がある。

授業等の課題分析

与えられた課題に対して真面目に取り組む生徒が多い。発表すること、話すことに対して苦手意識をもっている生徒が多い。クラスメイトの発言に対して受容的な雰囲気ではあるので、発言しやすい環境を整えることが大切である。

目指す授業

課題解決学習・意見のシェアを通して、他人の考えを聞き、自分の考えを深められる授業

授業改善のための具体的な方策

・単元の最初と最後に感想を書き、内容に即した自分の意見を書くことを継続し、自分で書くことが苦手な生徒に対しては、各項目や書き出しなどの支援ができる教材を用意し、取り組みやすいように工夫する。

・なるべく多くの文章に触れ、文章を読み慣れ、読み解く力が向上するように、なるべく多くの文章に触れ、文章を読み慣れ、読み解く力が向上するように努める。

・ICT の活用や学習形態の工夫をし、生徒の間で学びあう機会を設け、他人の考えを取り入れ、自分の考えを広げられるようにする。

授業改善推進プラン

教科（　　国語　　）　学年（　２学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査によると、自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられていると感じている生徒、「わかった」「できた」と感じる機会があり、わかりやすいと感じている生徒は当てはまる、まあまあ当てはまるを合わせると 95%であった。板書や資料がわかりやすいと答えている生徒も同じく当てはまる、まあまあ当てはまるを合わせて 95%であった。

授業等の課題分析

与えられた課題に対して真面目に取り組む生徒が多い。読み取ることや書くことに対しての抵抗感がなくなり、内容も充実してきた。テーマに沿った文章を書くことや、論理的に読み取る力の向上が課題である。学年が上がるにつれて発問が抽象的になるため、個に応じて支援を行い、課題に取り組みやすいようにする必要がある。

目指す授業

課題解決学習・意見のシェアを通して、他人の考えを聞くことで自分の考えを深められる授業。

授業改善のための具体的な方策

・国語の授業で学ぶ楽しさを感じている生徒が 86%とやや低い。学ぶ楽しさを感じられるよう教科書の文章だけでなく、様々な文章に触れるよう努める。単元の最初と最後に感想を書くことで、文章を書くことへの抵抗感が少なくなっているので、継続して行い、文章を書く力の向上を図る。

・学習の形態を工夫し、自分の考えを述べたり、発表をする機会をなるべく多く取り、生徒が自ら学びを深められるように努める。互いに質問したり、評価したりすることで発信する力を向上させるように努める。

授業改善推進プラン

教科（　　国語　　）　学年（　　3学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査では、生徒の間で学びあう活動を通して、他人の考えを取り入れ、自分の考えを広げられたりすることができていると感じている生徒、「わかった」「できた」と感じる機会があり、わかりやすいと感じている生徒は、当てはまる、まあまあ当てはまるを合わせると 89%であった。

国語の授業で「学ぶ楽しさ」を感じている生徒の割合が 78%とやや少ないことが課題である。

授業等の課題分析

自分の意見を発言できるようになり、他人の意見から新たに考えを深められるようになってきた。論理的に文章を書く力を向上させることが今後の課題である。

目指す授業

課題解決学習・意見のシェアを通して、自分の考えを他人の考えを聞くことで深められる授業

授業改善のための具体的な方策

・自分の意見を発表する機会をなるべく多くとり、他人の意見から自らの考えを深められるようにしていく。

・「学ぶ楽しさ」が味わえるよう、達成感がもてる課題設定を行う。

・さまざまなテーマについての文章を書くように課題を設定し、論理的に自分の考えを述べる力を向上させる。